



意欲という挑戦

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

意欲は全ての源泉である。そこに水を注ぐことが、全ての現実を可能とできるのである。

意欲は必ず全てを可能とできるのである。これら人材へ機会を与えることは政治や企業において大きな胃液を行うことである。

現在の GAFAM は、必ずその意欲が与えたものであり、企業は必ずこれに留意すべきである。

意欲は成長を有することも真実である。これらは未来を与える正しい原動力であり、企業はこれを用いなくてはならない。

これらは企業や政治が有する機会の解放を考慮すべきであるという提案できる。意欲という源泉は、成長や変化を待たない社会が変化を行うことができるのである。

これらは未来がその創造性とともに与えられることは、意欲という源泉を求めるのである。

また、GAFAM 議題へ戻りたい。その創造は意欲を厳選とする。新しい現実の創造という挑戦なのである。

これら熱意という意欲は、全ての企業がその成長の源泉としたのである。

新しい現実は存在する。それは新しい世界の創造という現実なのである。

意欲は必ず若者に見出すのである。